

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援 ポコアポコ		公表日	令和 8年 3月 17日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員に対して十分なスペースが確保されており、個別・集団活動に応じた環境作りを行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		各活動や場面に応じて、職員を配置し、安全に配慮しながら子どもの導線を確保しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもの特性に応じて、環境を整え、視覚的にわかりやすい環境作りを努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動後の清掃や、整理整頓を行い、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの気持ちの切り替えや個別対応が必要なサインは、別室で落ち着いて過ごせる環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に職員ミーティングを行い、振り返りや課題共有を通して、業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート等を実施し、保護者の意向を把握しながら、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員ミーティングを通して、意見交換を行い、業務改善や支援の質の向上に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	スーパーバイズ研修、実習生の受け入れ、関係機関や保護者の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けています。	第三者による外部評価が行っていません。今後は外部評価を受けて業務改善に繋げていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加や、法人内研修を通して職員の専門性向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業計画を基に、活動計画を作成し、ホームページ等で公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		モニタリングや日々の様子を踏まえ、職員間で共有しながら支援計画の作成・見直しを行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		関わる職員で会議を行い、共通理解の基、子どもの最善の利益を考慮して計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で支援計画を共有し、計画に基づいた支援を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察や活動の様子を通して、子どもの特性や得意不得意を把握して、支援に活かしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援や家族支援等を踏まえた計画を作成し、保護者へ説明し、同意を得ています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングで意見を共有しながら活動プログラムを検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月ごとの目標を設定し、子どもの発達に合わせた様々な活動を取り入れています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	子どもの発達状況や特性に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	職員間で打ち合わせを行い、その日の活動内容や役割分担を確認し、共通理解の基、チームで支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	活動後には、職員間で振り返りを行い、気付いた点や改善点を共有し、次の支援につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の活動の様子を記録として残し、職員間で共有することで支援の検証や改善に活かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを実施し、子どもの発達状況や課題を踏まえながら、支援計画書の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	担当職員や児童発達支援管理責任者が会議に参加し、子どもの状況を共有しながら、関係機関との連携を図っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	保護者からの聞き取りや、関係機関との支援会議を通して、情報共有を行い連携しながら、支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	併行利用や移行に向けて保育所という関係機関と情報共有を行い、相互理解を図りながら支援を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	就学に向けて、保護者や関係機関と連携しながら、情報共有を行い円滑な移行支援に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	必要に応じて児童発達支援センターと連携し、助言や情報共有を行う体制を整えています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	近隣の公園等で、地域の子どもと関わる機会を設け、地域とのつながりを大切にしています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援終了後の報告や連絡帳アプリ等を通して、子どもの発達状況や課題について保護者と共有しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	保護者交流会(VIDAサロン)を実施し、保護者同士の交流や情報共有の機会を設けています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時等に、運営規定や利用者負担について、丁寧に説明し、保護者の理解を得ています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	子どもの様子や保護者の意向を丁寧に聞き取り、最善の利益を考慮しながら支援計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	児童発達支援計画の内容を説明し、保護者の同意を得た上で、支援を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	面談や家庭訪問を通して、子育ての悩みや相談に応じ、必要な助言や支援を行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者交流会(VIDAサロン)を開催し、保護者同士の交流できる機会を設けています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		子どもや保護者からの相談や申し入れに対応できる体制を整え、随時迅速かつ丁寧な対応に努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		事業者通信やホームページ・SNS等を活用し、活動内容や行事予定、連絡事項などの情報を保護者へ発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報を含む書類は、鍵付き書庫で保管し、廃棄時はシュレッダー処理を行うなど、適切に管理しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者や保護者の状況に応じて、絵カードや視覚的情報を活用するなど、分かりやすい情報伝達に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		事業所主催のイベント等を通して、地域の方々と交流できる機会を設けています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止緊急時対応、防犯・感染症対策等のマニュアルを整備し、職員へ周知するとともに、訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画(BCP)を策定し、災害を想定した避難訓練等を定期的に実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		服薬状況やアレルギー、てんかん発作の有無等について事前に確認し、安全に配慮した支援を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの聞き取りをもとに、食物アレルギーの確認を行い、必要に応じて除去対応を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、避難訓練や防犯訓練等を実施するとともに、職員の役割分担を明確にして安全管理に努めています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づく取り組み内容や訓練の様子を、保護者に伝え安全確保に関する理解を深めています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際には報告書を作成し、職員間で共有するとともに、再発防止策を検討しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修を定期的に実施し、職員の意識向上と適切な支援の実施に努めています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束が必要な場合は、管理者および児童発達支援管理責任者の判断の基、保護者へ十分に説明し、同意を得た上で児童発達支援計画に記載しています。		